

土浦地域における水稻直播栽培の普及拡大

県南農林事務所経営・普及部門

石岡市の大規模経営体では、労働力が限られているため、従来から育苗・代掻き・田植作業の省力化が規模拡大の課題となっています。このため、当部門では平成29年から重点支援対象の経営体に直播栽培の導入支援を行い、安定して多収が得られるようになりました。また、直播栽培のさらなる普及拡大を図った結果、石岡市の直播栽培は4経営体・13.6haに拡大しました。

直播の安定多収栽培

乾田直播に先進的に取り組む経営体に対し、当部門では、①適正な播種深度の確保による苗立率の向上、②乾田期の除草作業を1回に削減することによる省力化、③ドローンを活用した追肥及びカメムシ類防除等を指導しました。

これにより、直播面積・収量ともに年々向上し、近年では700kg/10aを超える多収を実現されています。

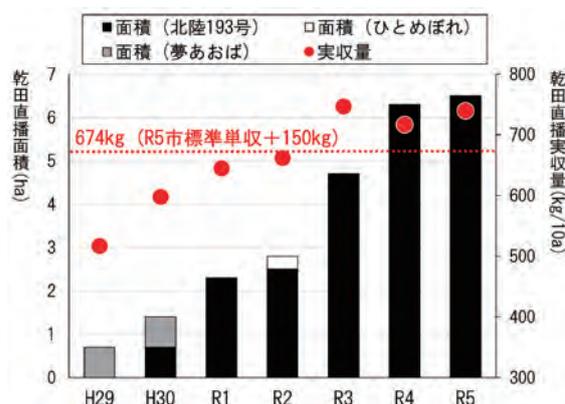


図1 重点支援対象における乾田直播の面積と収量

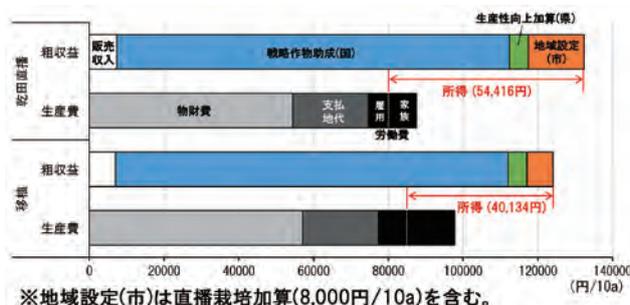


図2 乾田直播の収益性試算

作業分散と収益の向上

重点支援対象経営体では、省力低コスト技術である乾田直播栽培において、飼料用米の数量払額が満額水準となる多収を実現しました。このため、乾田直播の10a当たり所得は、移植に比べ14千円向上しました。

本経営体は、乾田直播について、「移植栽培との作業分散が図れる」点も高く評価しています。

直播の普及拡大

当部門では、直播に関心を持つ経営体へ、安定栽培技術を直接指導し普及拡大を図りました。

この結果、石岡市の直播栽培は、令和3年度の1経営体・4.7haから、令和5年度は4経営体・13.6haに拡大しました。令和6年も近隣市を含めてさらなる普及拡大が見込まれます。

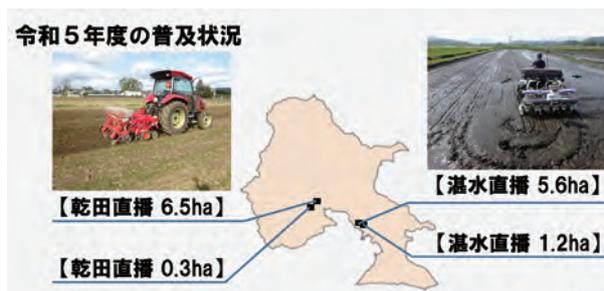


図3 石岡市における直播栽培の普及拡大